

鹿角市水道事業ビジョン

（令和 3（2021）年度～令和 12（2030）年度）

概要版



本市では、現行の鹿角市水道ビジョン（以下「旧ビジョン」という。）で整理した計画にもとづき水道事業を進めてきましたが、旧ビジョン策定以降、全国的に水道をとりまく状況は大きく変わり、厚生労働省も、それまでのビジョンの再改訂ではなく、新しい時代に即した「新水道事業ビジョン」を平成 25 年 3 月に策定しました。

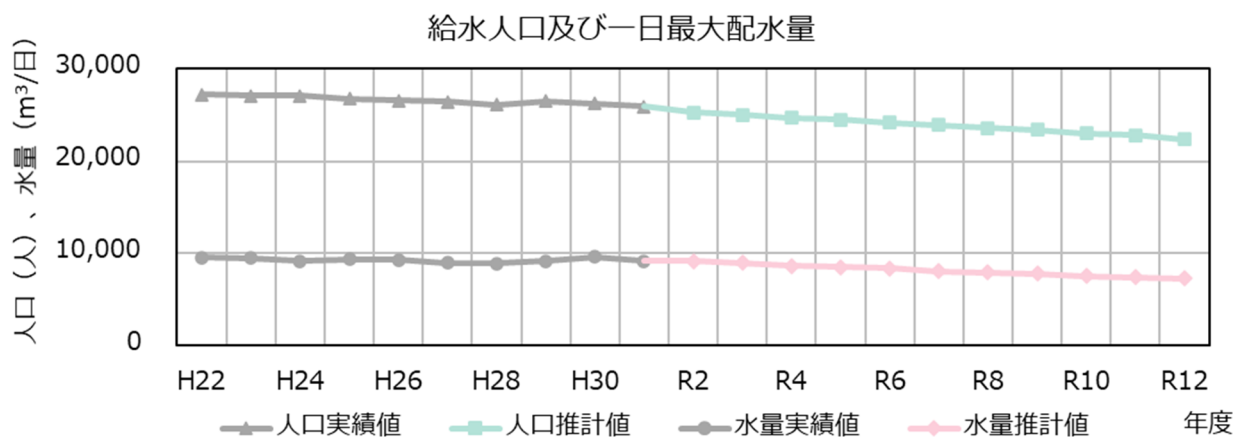
旧ビジョンの時点から本市の給水人口の減少傾向はみられましたが、全国的な状況から、今後も給水人口・水量の減少は確定的と考えられます。また、抜本的な危機管理対策の構築は喫緊の課題となります。

このような状況を受け、本市水道の 50 年、100 年先の未来を見据えた理想像を明示するとともに、その理想像を具現化するために必要な令和 3（2021）年度から令和 12（2030）年度までの当面 10 年間の方策等を取りまとめたものとして、今回「鹿角市水道事業ビジョン」を策定することとしました。

◆将来の事業環境

令和 12（2030）年度の給水人口及び一日最大配水量は、それぞれ約 22,400 人、約 7,200m³/日と現在より減少すると推計されています。

使用水量の減少にともない給水収益も減少することから、将来の財政状況を見すえた更新計画をたて、計画的に施設・管路等の更新を実施していくことが必要となります。



◆基本理念（キャッチフレーズ）

厚生労働省の新水道ビジョン、本市水道事業職員によるワークショップでの議論の結果を踏まえ、本市水道事業ビジョンの基本理念として、下記のキャッチフレーズを掲げます。

このキャッチフレーズには、厚生労働省の基本理念にある「地域とともに」「未来につなぐ」という概念や、本市において重要な意味を持つ「共働」の考え方が込められています。

このキャッチフレーズのもと、「安全」「強靱」「持続」「連携」の 4 つの目指すべき方向性に分類した 15 項目の課題に対して将来目標を定め、目標の実現に向けた具体的方策を設定しました。

「みんなの手で 未来へつながる 鹿角の水道」

◆「安全」の視点からの具体的方策

安全・安心な水の供給に向けて、水源保全と水質検査の継続実施、飲用井戸及び非公営水道の衛生対策状況の把握をおこないます。また、管路や浄水施設の計画的な更新、濁り水対策マニュアルの作成、個人所有の給水施設への対策を進めます。知識や技術の継承に向けては、継承手法の検討や組織的支援の充実を進めます。

目指すべき方向性	課題	具体的方策	方策の概要
安全	安全・安心な水の安定供給の継続	水道水源保全事業と水質検査の継続実施	現在すでに実施している水源の水質・環境の確認と水質検査を継続的に実施します。
		飲用井戸等の衛生対策状況の把握	3年に1回程度を目安に状況を把握し、適正利用に努めます。
		県と共同での非公営水道の衛生対策状況の把握	県と共同で衛生対策状況の把握に努めます。
	施設・管路の計画的な更新	管路更新計画の策定と実施	管路更新計画を策定し、漏水が頻繁に発生する管路（石綿セメント管含む）から順に更新を進め老朽化防止と耐震化推進に努めます。
		濁り水発生時対応マニュアルの作成	大規模な濁り水の発生に備え、事前にマニュアルを作成します。
		浄水施設機能整備事業の更新と継続実施	上水道の安定供給を維持するため、状況を把握しながら、これまでと同様に浄水施設の計画的な更新を進めていきます。
		鉛製給水管の布設替え検討	健康被害リスク低下に向け布設替えの進め方等の検討を進めます。
		給水施設の維持管理に関する情報提供の継続実施	管理責任者である所有者個人が十分な知識を持っていない場合には、必要な情報提供を行い、適正な管理が行われるようにします。
	知識・技術の継承	技術等の継承手法の検討	実務を通じて業務を教える方法(OJT)に限らない継承手法の定期的な検討・見直しを行います。
		研修参加や資格取得の支援充実	日常業務と並行しては困難な研修への参加や水道関連の資格取得などが進めやすい環境となるよう、組織的に支援を充実させます。

◆「強靱」の視点からの具体的方策

非常時対策として、危機管理マニュアル詳細版の作成や緊急遮断弁の整備、応急給水体制の整備を進めます。危機管理の側面から重要な水安全計画を速やかに策定します。また、災害時等に一括対応可能な水道共同体の構築に向けた計画を進めます。

目指すべき方向性	課題	具体的方策	方策の概要
強靱	非常時対策の充実	危機管理マニュアルの詳細版作成	現在、簡易版は策定済ですが、今後の災害等に備えて詳細版を速やかに作成します。
		水道施設防災対策推進事業の実施	今後も継続的にポリタンク備蓄を続けます。災害時に配水池から貯留水の流出を防ぐための緊急遮断弁についても整備を進めます。
		非常時給水体制の整備	費用対効果を見極めながら、非常時の応急給水体制を整備します。
	水安全計画の早期策定	水安全計画の策定	危機管理の側面から重要な計画である水安全計画を、市民アンケートの結果を踏まえ、速やかに策定します。
	災害時等に一括対応可能な水道共同体の構築	水道共同体構築のための計画検討・策定	夜間や災害時に一括対応可能な市内業者による水道共同体の設立に向け検討を進め、設立計画を策定します。
		水道共同体構築に向けた勉強会等の実施	水道共同体構築計画に従い、必要な知識・情報等を共有・学習するための勉強会等を定期的実施していきます。

◆「持続」の視点からの具体的方策

将来水需要の減少を見据えた経営戦略の見直しと適正な料金体系の検討をおこない、水道管路情報管理システムの継続活用も進めます。経費削減対策の検討とともに、より実態に合った更新投資をおこなうための検討を進めます。また、有収率向上に向け、老朽管の計画的な更新と合わせて、有収率低下要因についても調査・検討します。

目指すべき方向性	課題	具体的方策	方策の概要
持続	将来需要を見据えた健全な経営の実現	収入減を見込んだ定期的な経営戦略の見直し	収入減少を見込んだ経営を進めるため、水需要の減少の予測値と実績値とを比較しながら、定期的に経営戦略を見直します。
		水道管路情報管理システムの継続更新活用	現在も運用している水道管路情報管理システム（マッピングシステム）を、データを更新しながら、継続的に活用していきます。
		適正な料金体系の検討	安全・安心な水の担保に必要な老朽化施設等の更新費用の確保に向け、費用削減と並行して、適正な料金体系の検討を進めます。
	経費削減による原価の低減	経費削減対策の検討	人口減少に伴う水道料金収入の減少に備えて、経費削減対策について定期的に検討します。
	堅実な更新投資の実践	より実態に合わせた耐用年数での更新需要の検討	施設等の使用年数の実態に合わせた形で、定期的に状況を把握しながら、より現実的な更新需要の検討をおこないます。
		財政収支予測と合わせた投資計画の策定	より現実的な更新需要に合わせて、財政収支予測もおこない、施設等への投資計画を定期的に見直し、策定します。
	漏水対策と有収率の向上	老朽管の計画的な更新	着実な漏水対策として計画的に老朽管を更新します。
		有収率低下要因の調査・検討	漏水以外の有収率低下の要因がないか調査・検討し、有収率の低下を抑えられるよう努力します。

◆「連携」の視点からの具体的方策

利用者の水道に関する理解の促進に向け、ホームページの活用や独自活動紙の不定期発行、水道施設見学会の検討、利用者との交流の場の設置、定期的なアンケートの実施、マスコットキャラクターの作成検討を進めます。また、運用・補修等の全面委託が可能となるような市内業者との連携、外部委託における官民連携、小規模・専用水道の持続支援に向けた県との連携、経営基盤強化のための広域連携に向けた近隣他市町村との情報連携を進めます。

目指すべき方向性	課題	具体的方策	方策の概要
連携	積極的な情報発信による住民理解の促進	ホームページを活用した情報発信の継続と検討	今後の水道事業を円滑に運営していくため、これまで以上に積極的に情報発信をおこなうための検討をおこないます。
		独自活動紙の不定期発行の実施	利用者への情報発信の一貫として、独自の活動紙の不定期発行を検討し、実施します。
		水道施設見学推進に向けた検討	水道の実態を知っていただき、より身近なものと感じていただけるよう、水道施設見学に向けた検討をおこないます。
		市民向け勉強会を含めた市民との交流の場の作成	水道の実態を知っていただき、より身近に感じていただけるよう、勉強会などの職員と市民のみなさまとの交流の場を設けます。
		定期的なアンケートの実施	利用者のご要望などを適切に拾いあげ、水道事業運営に活かせるよう、定期的なアンケートの実施をおこないます。
		マスコットキャラクターの作成検討	水道を身近に感じていただけるための一案として、マスコットキャラクター（ゆるキャラ）の作成を検討します。
	修繕全面委託に向けた市内業者の育成	業者能力向上のための育成方法の検討	費用削減の一手段として、運用・補修等の全面委託に対応できる市内業者を育成するための方法について検討をおこないます。
		育成マニュアルの作成	全面委託できる市内業者の育成に向けたマニュアルを作成します。
	官民連携の継続と手法の検討	運転管理委託の継続実施	今後も継続して、運転管理委託を実施し、経費の削減に努めます。
		外部委託手法と効果の検討	効率的かつ効果的な外部委託ができないか、定期的に検討します。
		PFI等方式導入の可能性検討	より効果的な方式の導入可能性についても定期的に検討します。
	県との共同による小規模水道等の持続方策の検討	小規模・専用水道の持続支援方策の検討	小規模・専用水道の存続が可能となるよう、持続・支援方策について検討をおこないます。
	広域連携の検討	他市町村との情報連携の検討	経営基盤強化に向けた広域連携を検討するため、まずは近隣他市町村との情報連携を検討します。

◆ 具体的方策の全体像と財政収支の見込み

これまでに述べた目標実現に向けた具体的方策の全体像とその工程は以下のとおりです。

法定耐用年数で施設を更新しながら、資金残高が不足とならないようにするためには、適切な料金体系の検討が必要となります。また、料金改定以外にも、需要減少に対応した施設規模の適正化なども対策として考えます。

方向性	課題	具体的方策	現状	令和												目標
				3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
安全	安全・安心な水の安定供給の継続	水道水源保全事業と水質検査の継続実施	事業・検査ともに実施中	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	継続実施	
		飲用井戸等の衛生対策状況の把握	状況把握ができていない	■			■			■			■	状況の把握と整理		
		県と共同での非公営水道の衛生対策状況の把握	継続的に実施中	■			■			■			■	状況の把握と整理		
	施設・管路の計画的な更新	管路更新計画の策定と実施	計画未策定	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	計画策定・実施	
		濁り水発生時対応マニュアルの作成	マニュアル未作成			■									マニュアル作成	
		浄水施設機能整備事業の更新と継続実施	継続的に実施中	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	更新と継続実施	
		鉛製給水管の布設替え検討	未実施			■					■				今後の方針を検討	
		給水施設の維持管理に関する情報提供の継続実施	凍結防止案内等を継続実施中	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	継続実施	
	知識・技術の継承	技術等の継承手法の検討	現在は先輩から後輩へのOJT	■					■						技術等継承手法の検討	
		研修参加や資格取得の支援充実	一部の研修参加にとどまっている	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	支援の充実	
強靱	非常時対策の充実	危機管理マニュアルの詳細版作成	簡易版は策定済	■											マニュアル作成	
		水道施設防災対策推進事業の実施	ポリタンク備蓄は実施中 緊急遮断弁は未整備	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	ポリタンク備蓄継続 緊急遮断弁整備	
		非常時給水体制の整備	未整備		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	体制の整備	
	水安全計画の早期策定	水安全計画の策定	未策定	■	■										計画の策定	
	災害時等に一括対応可能な水道共同体の構築	水道共同体構築のための計画検討・策定 水道共同体構築に向けた勉強会等の実施	漏水時・緊急時の提携まで 漏水時・緊急時の提携まで				■	■	■						計画検討・策定 勉強会等の実施	
持続	将来需要を見据えた健全な経営の実現	収入減を見込んだ定期的な経営戦略の見直し	見直しを検討中				■				■				定期的な経営戦略の見直し	
		水道管路情報管理システムの継続更新活用	マッピングシステムはデータ更新して運用中	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	継続更新活用	
		適正な料金体系の検討	アセットマネジメントで仮検討	■						■					検討の実施	
	経費削減による原価の低減	経費削減対策の検討	検討中		■					■					削減対策の検討	
	堅実な更新投資の実践	より実態に合わせた耐用年数での更新需要の検討	標準的な耐用年数では検討済	■									■		更新需要の検討	
		財政収支予測と合わせた投資計画の策定	アセットマネジメントは実施済	■					■					■		計画の策定
	漏水対策と有収率の向上	老朽管の計画的な更新 有収率低下要因の調査・検討	R2より計画的に実施中 未実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	計画的な更新 調査・検討の実施	
連携	積極的な情報発信による住民理解の促進	ホームページを活用した情報発信の継続と検討	決算と水質検査結果は掲載	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	発信の継続・検討	
		独自活動紙の不定期発行の実施	未検討			■	■	■	■	■	■	■	■	■	発行の実施	
		水道施設見学推進に向けた検討	一部で実施中			■									検討の実施	
		市民向け勉強会を含めた市民との交流の場の作成	未検討	■	■			■			■				交流の場の作成	
		定期的なアンケートの実施	不定期で実施		■		■		■		■		■		定期実施	
		マスコットキャラクターの作成検討	未検討		■										作成検討	
		修繕全面委託に向けた市内業者の育成	業者能力向上のための育成方法の検討 育成マニュアルの作成	場合に応じて担当者が指示 未作成				■							育成方法の検討 作成	
	官民連携の継続と手法の検討	運転管理委託の継続実施	個別実施中	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	継続実施	
		外部委託手法と効果の検討	未検討				■						■		検討の実施	
		PFI等方式導入の可能性検討	未検討				■						■		検討の実施	
	県との共同による小規模水道等の持続方策の検討	小規模・専用水道の持続支援方策の検討	施設整備に対する支援は実施中	■	■				■						検討の実施	
	広域連携の検討	他市町村との情報連携の検討	未検討	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	検討の実施	